

# ミステリ読書案内

2023. 10. 23 発行元

第523号 伊藤 剛

<https://mystery-dokuan.com>

MYSTERYDOKUSHOANNAIMYSTERYDOKUSHOANNAIMYS

## 早坂吝「しおかぜ市一家殺害事件…」

5月に光文社から早坂吝の『しおかぜ市一家殺害事件あるいは迷宮牢の殺人』が出た。(またまた題名が長すぎて上の見出しのスペースには入りきらなかった) 夏に仙台に出掛けた時に大型書店の棚で発見した。

### 意表を突く展開が特徴

早坂吝と言えば「本格ミステリ」の構成を取りながらも、意表を突く展開で読者をアツと言わせるのが得意な作家。本書にもどんな仕掛けがあるのかと手に取った時から期待が膨らむ。

本書は題名からもわかるように二つの事件が絡み合う形で物語が作られていて、先が見えない不安感みたいな雰囲気がある。最初に登場するのが「しおかぜ市一家殺害事件」の方。ここを読んだだけではまだ何も闇の中のみである。

### 「迷宮牢」という設定

本書の最初のページに「迷宮牢全体図」という迷路のような建物を上から見た図が示されている。迷路の中に7つの居室が組み込まれた館のようで、本格ミステリ好き読者の期待が掻き立てられる。

この「迷宮牢の殺人」は作中作のような形式になっている。6つの未解決事件の犯人をこの迷宮牢に連

れてきて閉じ込め、それぞれが使用した凶器が置いてあるので、互いに殺し合いをさせるという意図だと音声流される。閉じ込められた7人の中に名探偵の死宮遊歩がいて、彼女が捜査をしながら事件の解決に努める形式で話が進む。

中の一人が毒殺されて亡くなったのをきっかけに、たちまち連続殺人に発展していく。死宮が他の登場人物たちといろいろな可能性について議論し、ロジックを積み上げていくのだが、読んでいて妙に違和感を感じる部分があって、後になってそれが伏線だったことに気付く。「利き足」の話はどうなのだろうか…。科学的には…？

### 細かな仕掛けが多すぎて…

細かな仕掛けが多すぎて読んでいて混乱する。どんでん返しの連続みたいになっていくのだが、ちょっと凝り過ぎの感もある。ここまで複雑でなくともよいのではないだろうか。読者は振り回されるのだが、スッキリ感は今一步。

### 早坂吝のミステリ作品

1. ○○○○○○○○殺人事件
2. 虹の歯ブラシ 上木らいち発散
3. 誰も僕を裁けない
4. 双蛇密室
5. メーカーデーモンの戦慄
6. 探偵AIのリアル・ディープラーニング
7. 犯人AIインテリジェンス・アンプリファード
8. 四元館の殺人  
探偵Iのリアル・ディープラーニング
9. R P Gスクール
10. アリス・ザ・ワンダーキラー
11. ドローン探偵と世界の終わりの館
12. 殺人犯対殺人鬼
13. しおかぜ市一家殺害事件  
あるいは迷宮牢の殺人

この作品は雑誌『ジャーロ』に連載されたもののようなのだが、一ヶ月ごとにゴマ切れで読んだのでは話が繋がらないでしまうのではないかと最初から最後まで一気に読みしなないとわかりにくいと思う。

### 今後の作品に期待を…

早坂吝のデビューが2014年。9年間で13冊の作品数はそう多い方ではない。でも、新しいものを作ろうとする作者の意欲を感じる。まだまだ若い作家なので、今後の作品に期待したい。細かな箇所には拘り過ぎずに、大胆な仕掛けの「本格ミステリ」を書いてほしい。

## 麻見和史「時の呪縛 凍結事案捜査班」

8月に文春文庫から書下ろしで出た

本。麻見和史と言えば『警視庁殺人分析班』シリーズが一番の柱となる作家で、警察小説の書き手としての実力は高く評価されている。本書は新シリーズの幕開けとなるのかどうか。帯には「王道の警察小説がここに誕生！」と書いてある。しかし、中身は登場瞬間とも共通する「今風の警察小説」の形に沿ったものである。主人公の警察官は自分自身の抱える問題で四苦八苦している様子にかなりのスポットが当てられている。

本書の主人公は刑事・藤木靖彦。元は捜査一課の敏腕刑事だったが、三か月前に癌で妻を失い、鬱状態に陥って休職し、復帰後は警視庁捜査一課特命捜査対策室支援係＝凍結事案捜査班に回るようになった。当面は書類仕事で定時退勤の約束のはずだったのが…。急に30年前の小学生殺害事件の再捜査に駆り出されることになり、不本意ながら外の捜査に出掛けることになった。凍結事案捜査班には組織に溶け込めなかったり、失敗をしてここの回されてきた癖の強い仲間が揃っている。無気力状態になっている藤木がいかんして立ち直っていくかの経過が読みどころ。30年前の事件はお宮入りしたもののだが、当時の捜査そのものが不十分なのではないかと思わせる内容が多いと思う。新たな情報がもたらされ、それをきっかけに動き出す。